

6年後に達成する目標
(健康課題を踏まえた検査値の改善等の目標)

代謝リスク保有者の割合を16.3% (2021年度) から15.0% (2029年度) に減少させる。
※代謝リスク: 空腹時血糖110mg/dl以上、またはHbA1c6.0%以上

健康課題の抽出

○佐賀支部一人当たり医療費は年々増加傾向にあり、全国で最も高い (R3佐賀支部 219,654円、全国 194,415円)。入院外医療費の疾病分類別一人当たり医療費の地域差においては、「内分泌・栄養及び代謝疾患」、「循環器系の疾患」の寄与度が高い (内分泌等寄与度 0.026、循環器系寄与度 0.019)。○新規人工透析患者は2019年度から3年連続で減少傾向にあるが、**新規人工透析患者は年間40人以上、下肢切断者は10人以上**いる状態。○代謝リスク保有割合、メタボリスク保有割合が高く、年々上昇傾向にある (代謝 16.3%、メタボ30.3%)。○特定保健指導の実施率が低い (24.6%)。○健診で糖尿病等が疑われても**未治療者が多い (6割放置)**。○生活習慣の特徴として、男女ともに**運動不足傾向**、さらに男性は20歳から**10キロ以上の体重増加があった者が5割**いる。

背景、不適切な生活習慣

【佐賀県の健康・医療体制の特徴】九州西部に位置し、10市10町で構成され、人口約80万人/共働き割合: 53.8% (九州1位)。佐賀県保健医療計画 (第7次) より、医療機関数、病床数、医療従事者数が人口当たりで全国平均を上回っている。中核病院・基幹病院が県内に分散立地しており、患者からのアクセスが良いなど比較的良好な体制である。
○糖尿病及び糖尿病予備群の割合 (第7回NDBオープンデータ) ワースト1位
○人工透析患者数は増加していたが、R2年から減少傾向へ (R3年度2,645人)
○佐賀県の市町国保の一人当たりの医療費 (年齢調整後) 全国1位
○協会けんぽ佐賀支部の一人当たりの医療費 (年齢調整後) 全国1位

【佐賀支部の健康・生活習慣の特徴 (R4 支部進捗管理報告書より)】
■ 被保険者数 169,544人 (うち40歳以上 116,429人)
■ 被扶養者数 109,493人 (うち40歳以上 28,523人)
■ 加入事業所数 14,015
■ 業態区分 飲食料品以外の小売業、総合工業、社会保険・社会福祉・介護事業、医療業・保健衛生分野で働いている人が多い
■ 食習慣 女性の方が悪い (朝食を抜くなど) 要改善者割合 5割
■ 運動習慣 男女とも悪い 要改善者割合 7割
■ 喫煙状況 男性の方が悪い 喫煙率45.4% (全国40.0%)
■ 飲酒状況 飲酒要改善者割合は低い
■ 20歳からの体重増加10キロ以上 特に男性が悪い51.4%
■ 睡眠・休息状況 女性の方が悪い。睡眠で休養取れない率44.2%ワースト7位
■ 特定健康診査実施率 被保険者73.2% 被扶養者24.5% (低い)
■ 健康宣言事業所数 606事業所
■ 佐賀県自家用車の世帯当たり普及台数 1.5台 (全国12位)

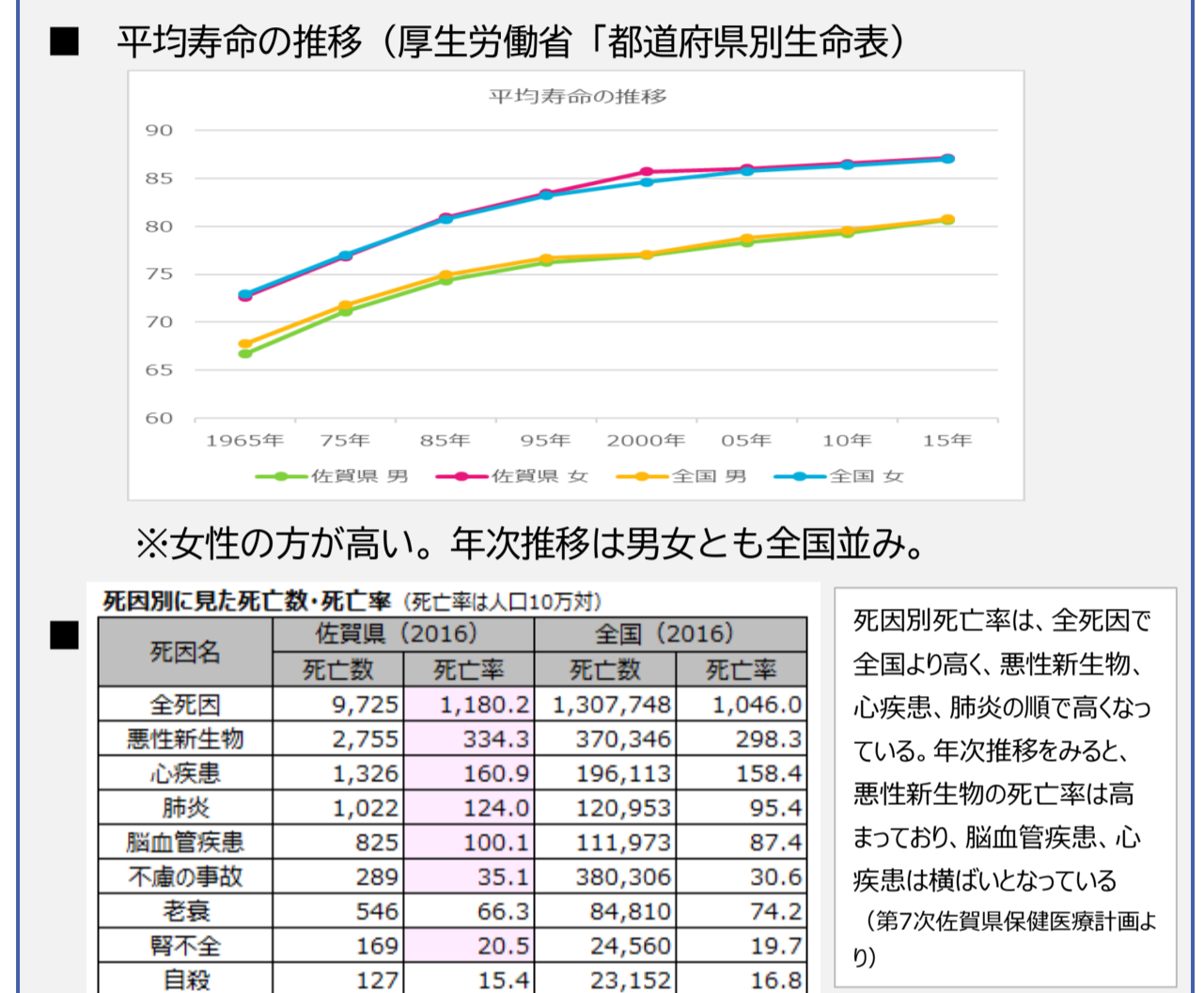
生活習慣病予備群

■ 保健指導実施率 被保険者24.6% (低い)
■ 生活習慣病リスク保有率 (全国順位が高いほど悪い)
【男性】 【女性】
・メタボリスク (23.9% 全国19位) (6.6% 全国31位)
・メタボ及び予備群 (42.2% 全国26位) (13.2% 全国32位)
・腹囲リスク (53.2% 全国41位) (18.0% 全国41位)
・血圧リスク (52.5% 全国4位) (36.6% 全国15位)
・代謝 (血糖) リスク (23.2% 全国20位) (11.8% 全国22位)
・脂質リスク (36.8% 全国28位) (19.8% 全国31位)
→佐賀支部は**健診結果が悪い方**
■ 被保険者年齢階層別メタボ保有率 本部提供医療費分析データより
※年齢が高くなるほどメタボが多い→内臓脂肪貯留→代謝機能の低下
・35~39歳 7.3%
・40~44歳 9.4% (+2.1%)
・45~49歳 13.1% (+3.7%)
・50~59歳 16.4% (+3.3%)
・60~64歳 22.4% (+6.0%)
・65歳以上 26.5% (+4.1%)
■ 糖尿病関連検査 (空腹時血糖、HbA1c) R3年度Zスコアより
・空腹時血糖 ≥ 126mg/dl (割合) ほぼ平均的
・HbA1c ≥ 5.6% (割合) 上位6分の1 (かなり悪い)

生活習慣病

■ 入院外一人当たり医療費 (調剤含む)
・R2_76,858 (円) → R3_84,137 (円) (伸び率+3.47%)
■ 入院一人当たり医療費
・R2_64,854 (円) → R3_64,412 (円) (伸び率-0.21%)
※全国平均でみると、佐賀支部は1人当たり医療費が最も高く、入院外が+11,582円、入院が+12,149円高い。
■ 一人当たりの医療費が全国平均より高い疾病 (医療費に占める割合)
・入院 精神及び行動の障害6.50% (全国 3.70%)
損傷・中毒及びその他の外因の影響9.36% (全国 7.29%)
・入院外 循環器系の疾患14.29% (全国 13.12%)
内分泌・栄養及び代謝疾患11.89% (全国 10.82%)
※内分泌・栄養及び代謝疾患については、すべての年齢階級において全国平均を上回っている。
■ 新規人工透析導入患者数 年間40~60人程度
■ 重症化予防事業の状況実施状況 2016年度より**佐賀県糖尿病重症化予防事業の実施** (ストップ糖尿病予防対策事業 佐賀県庁内関係部署、研究機関、県医師会、地区医師会、基幹病院、医療保険者等の関係団体、市町の参加)

重症化、要介護状態、死亡



現状

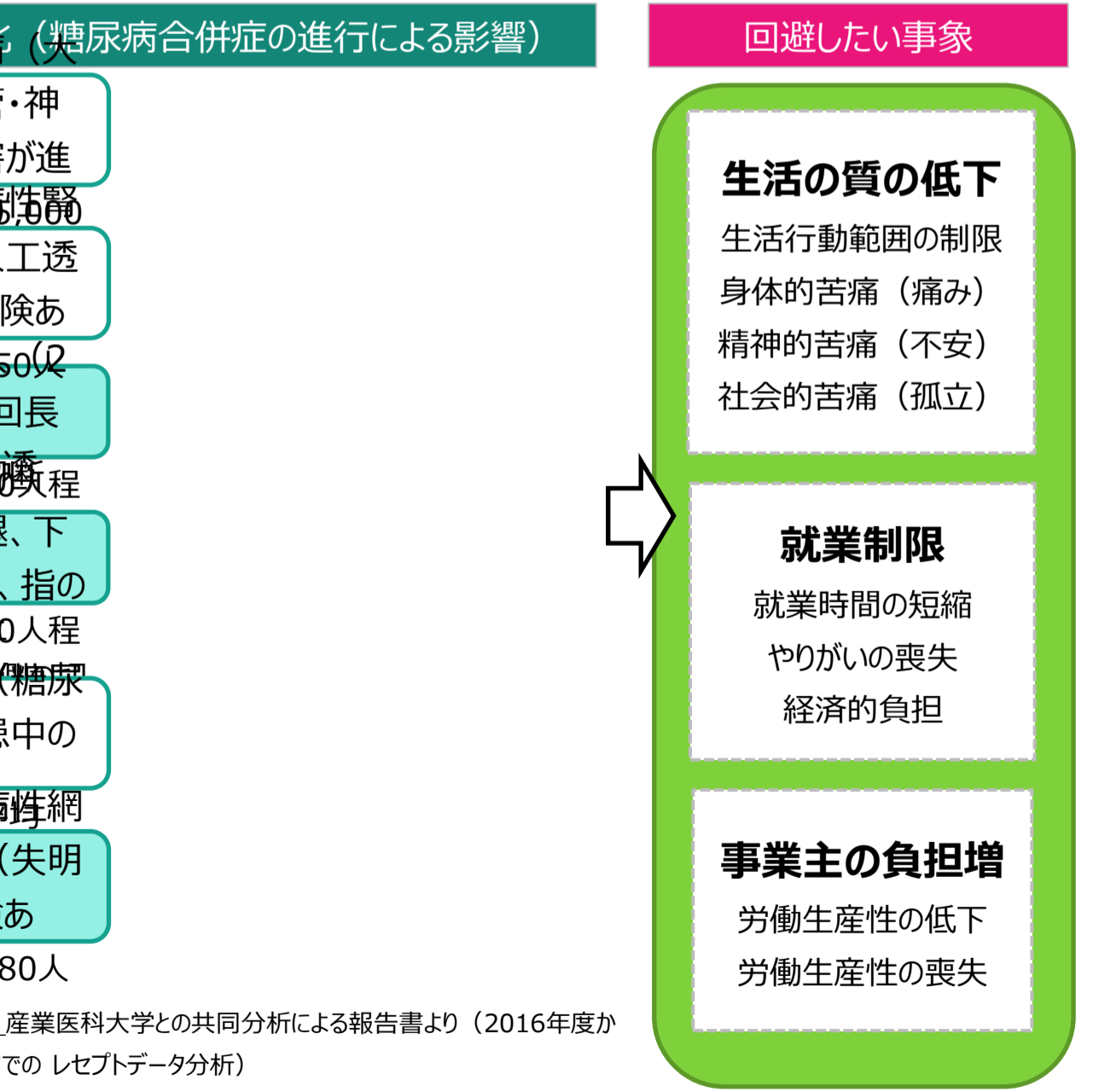
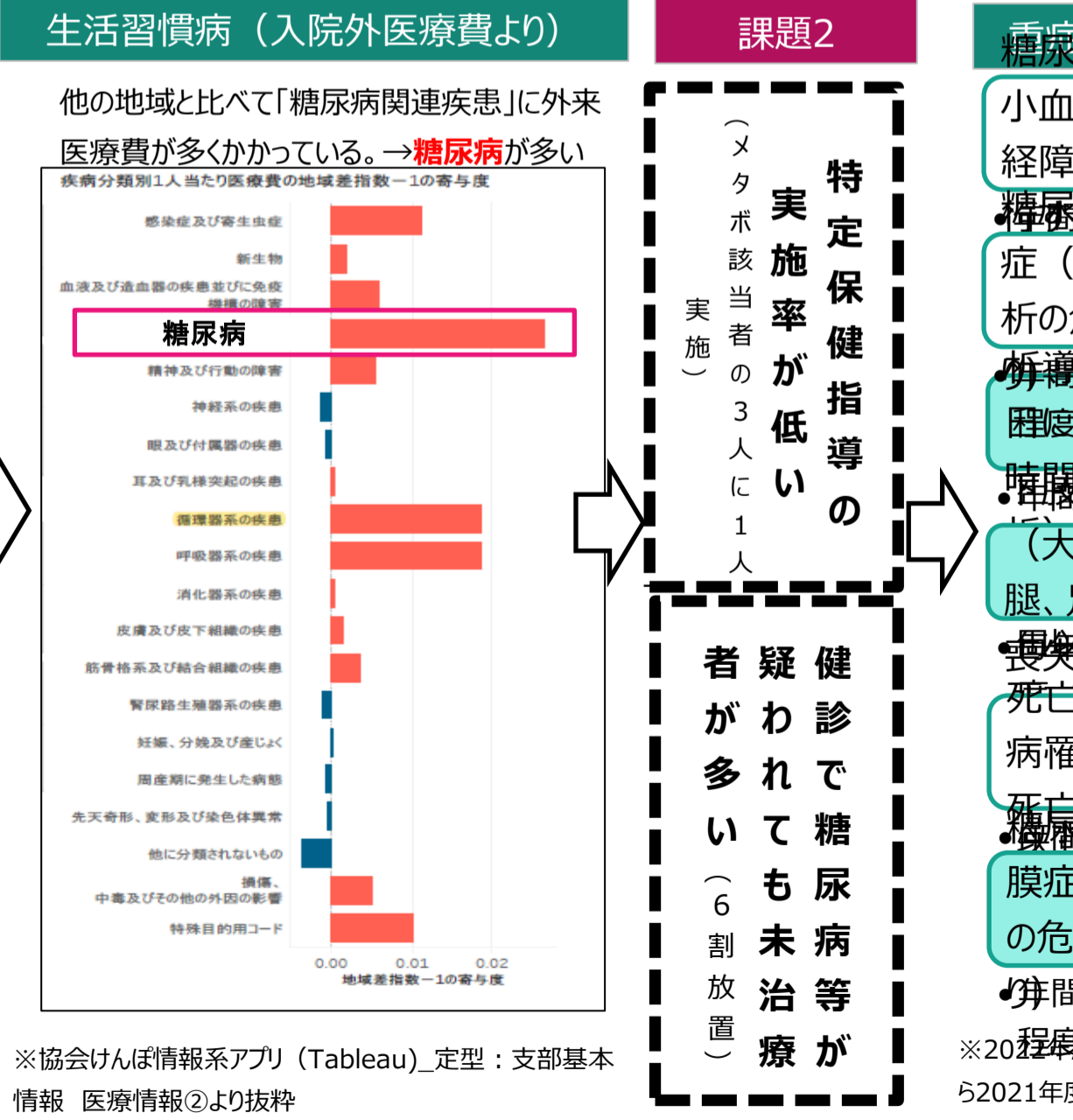
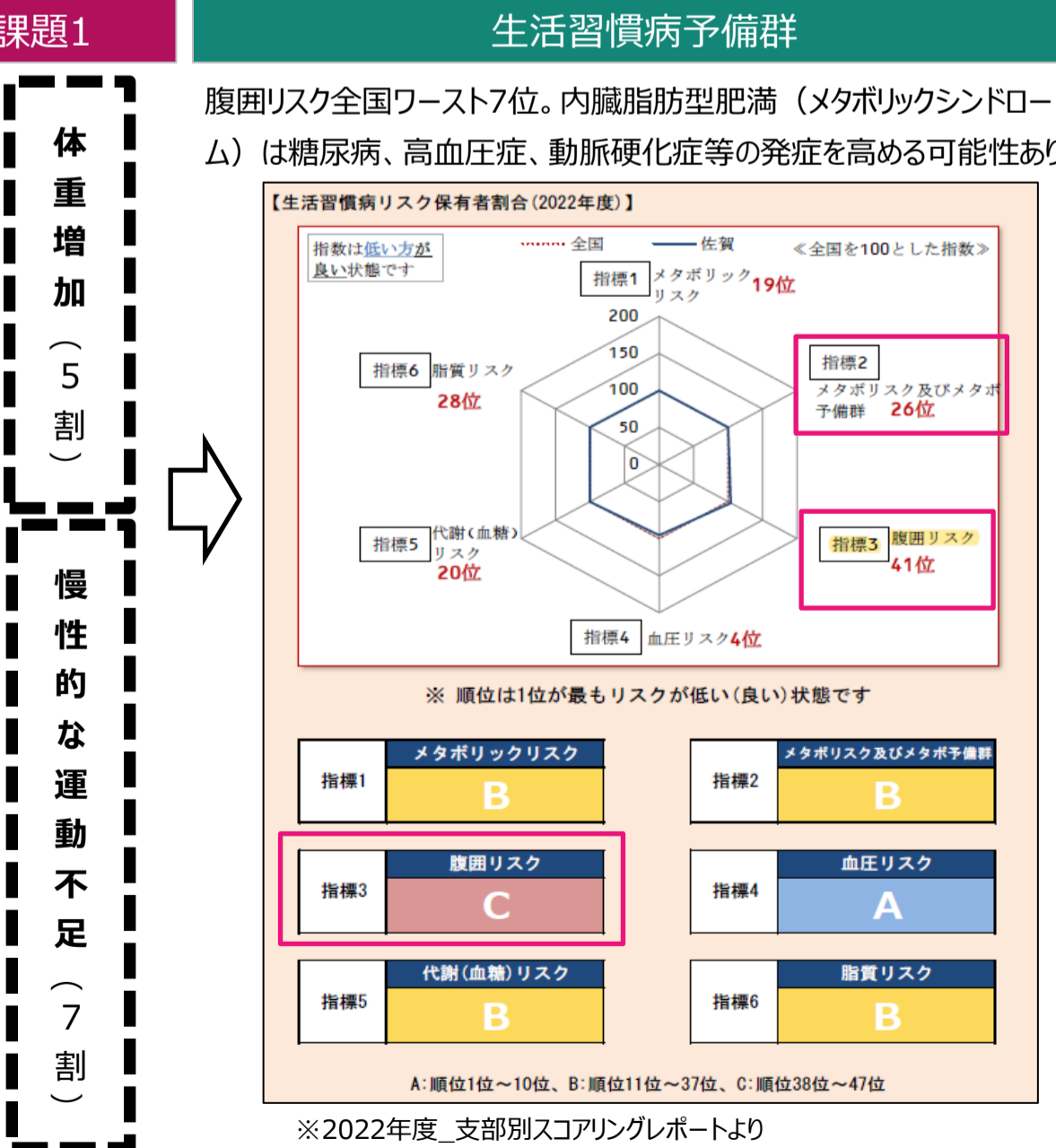
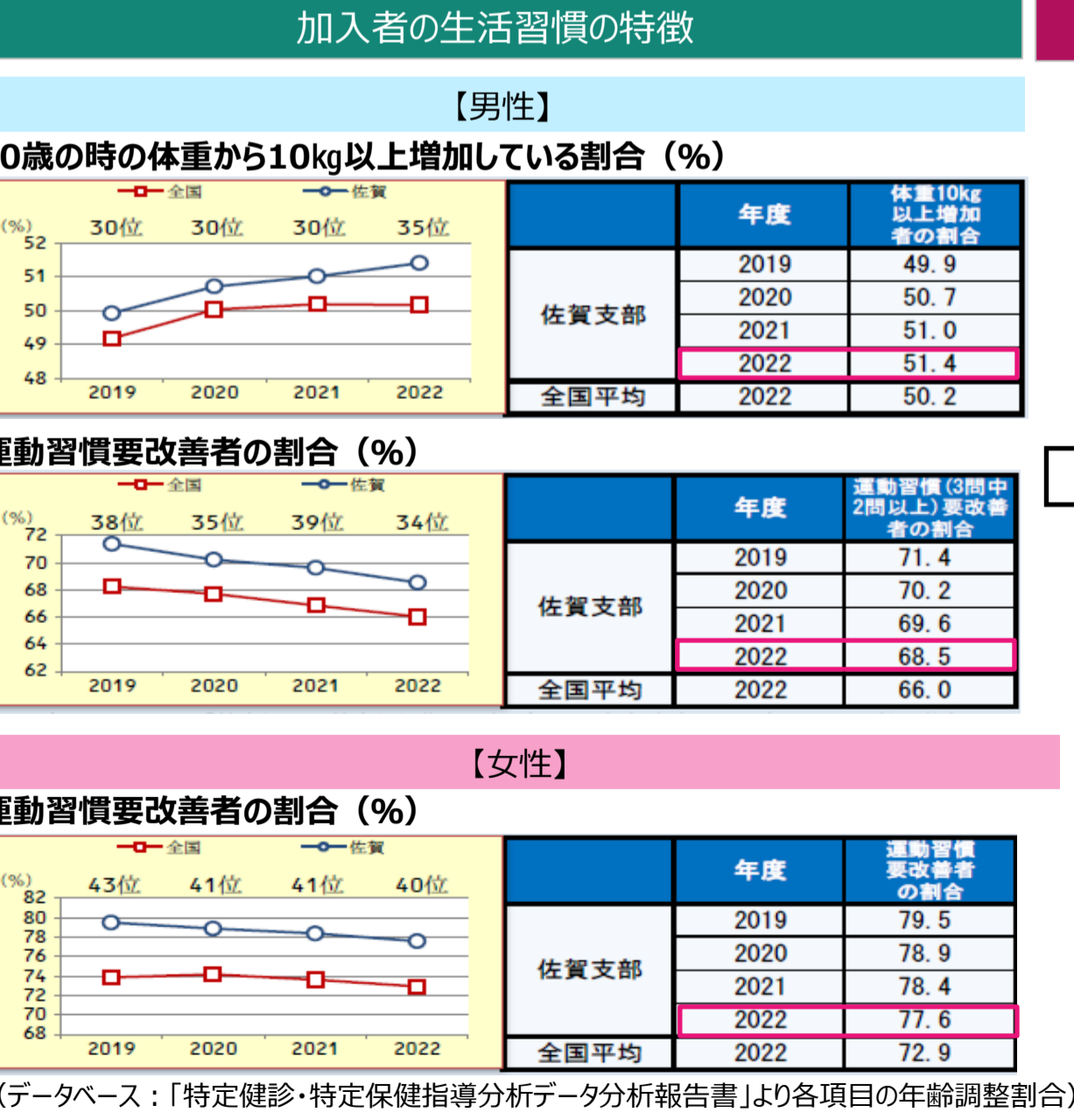
健康経営：事業主とのコラボヘルス (広く情報発信)

健診受診率向上 (特に被扶養者)

特定保健指導実施率向上・改善率の向上 (事業所及び健診機関の協力)

重症化予防事業 (積極的な受診勧奨)

健康課題



対策を進めるべき重大な疾患 (10年以上経過後に達するゴール)

人工透析の新規導入者の割合を12.4% (2021年度) から減少させる。